

八戸工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	国語ⅡB(0203)	
科目基礎情報							
科目番号	2C02			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	産業システム工学科マテリアル・バイオ工学コース			対象学年	2		
開設期	秋学期(3rd-Q),冬学期(4th-Q)			週時間数	3rd-Q:2 4th-Q:2		
教科書/教材	①『古典を読んでみましょう』（ちくまプリマー文庫）②『日本古典読本』（筑摩書房）③『新精選古典B漢文編』（明治書院）④『新訂 国語図説 五訂版』（京都書房）⑤『常用漢字の標準演習 改訂版』（東京書籍）⑥『現代の国語』（東京書籍）⑦『改訂版 ほんものの力がつく 現代語練習帳 こののは』（いいずな書店）						
担当教員	齋 麻子,海野 かおり,米田 巧						
到達目標							
日本の古典文学について、古文の基礎知識と文学史的背景をふまえた作品鑑賞を自主的にできる。漢文の初歩的な読解ができる。現代文の理解ができる。漢字テスト等を通して、語彙力を高める。言葉の大切さを理解する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	古文の基礎知識と文学史的背景をふまえた作品鑑賞を自主的にできる。		古文の基礎知識と文学史的背景をふまえた作品鑑賞ができる。		古文の基礎知識と文学史的背景をふまえた作品鑑賞ができない。		
評価項目2	漢文の初歩的な読解が主体的にできる。		漢文の初歩的な読解ができる。		漢文の初歩的な読解ができない。		
評価項目3	現代文の理解が主体的にできる。		現代文の理解ができる。		現代文の理解ができない。		
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー DP1 ◎ ディプロマポリシー DP6 ○ 地域志向 ○							
教育方法等							
概要	【開講学期】冬学期週4時間 基礎的な教養が得られるような作品を日本文学のさまざまなジャンルから選び、自国の言葉や文化を学習する。また、漢文に関する基礎的な知識と理解を身につける。併せて現代文の読解力を養う。						
授業の進め方・方法	教科書を中心に古典文学を鑑賞する。古文の読解を行うと共に、歴史的背景を把握し、作品への理解を深める。漢文についても、読み方や解釈の仕方を習得する。						
注意点	定期的に漢字テストを行う。宿題課題等の提出は確実に提出すること。教科書・副教材の他に古語辞典と漢和辞典を持参すること（電子辞書も可）。配布プリントは紛失しないように専用のファイルを準備すること。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	中世の文学		日本の中世の文学作品の世界観を理解できる		
		2週	中世の文学		日本の中世の文学作品の世界観を理解できる		
		3週	中世の文学／漢字テスト		日本の中世の文学作品の世界観を理解できる		
		4週	中世の文学		日本の中世の文学作品の世界観を理解できる		
		5週	中世の文学		日本の中世の文学作品の世界観を理解できる		
		6週	中世の文学		日本の中世の文学作品の世界観を理解できる		
		7週	中世の文学／漢字テスト		日本の中世の文学作品の世界観を理解できる		
		8週	中世の文学		日本の中世の文学作品の世界観を理解できる		
	4thQ	9週	漢文		漢文の基礎的な読みができる		
		10週	漢文		漢文の基礎的な読みができる		
		11週	漢文／漢字テス		漢文の基礎的な読みができる		
		12週	漢文		日本における漢文の必要性を理解できる		
		13週	漢文		日本における漢文の必要性を理解できる		
		14週	漢文		日本における漢文の必要性を理解できる		
		15週	到達度試験				
		16週	答案返却とまとめ				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	漢字テスト	課題提出				合計
総合評価割合	70	20	10	0	0	0	100
基礎的能力	70	20	10	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0